

カタクリ

科学文化センターの自然史展示室には、「照葉の森の生活」というコーナーがあります。このコーナーには、縄文時代の人々が海や山で採集し、食べていたと考えられる植物や動物が展示してあります。この中にきれいな花の写真と白く細長い球根があります。

この花と球根は、これから紹介するカタクリの花と球根です。カタクリの球根には、たくさんのデンプンが含まれているので、昔の人は、この球根を集めて食料にしていたと思われます。

今でも、料理やお菓子の原料として使われているカタ

クリ粉も本来はこの球根をすりつぶし、水でさらしてつくられたものですが、現在のカタクリ粉はほとんどジャガイモのデンプンで作られています。

野山に生えているカタクリの球根を集めてカタクリ粉を作っ



ていたのでは効率が悪くてとてもやっていけないのでしょう。

カタクリの花は茎の先端につき、うつむきかげんに咲き、薄ピンク色の6枚の花びらにはW型の模様が見え、その付近でそりかえっています。葉は地面から直接出ていますが、その下には茎が又、30cm位伸び、その先端に平たいラッキョウの様な形をした球根がついています。このため、カタクリ全体を途中で折らない様に掘り出すのにはなかなか骨が折れ、たいていの場合、途中で切れてしまいます。昔の人も球根を掘るのには苦労したことでしょう。

ところで、カタクリは、ユリ科の多年性草本で、日本各地の丘陵地や山地の林床^{りんい}によく生えています。本州の中部以北に多く分布していますが、四国や九州にはあまり多くありません。

カタクリは、雪どけとともに地上に葉を広げ、富山では4月から5月頃に花を咲かせます。6月の終わり頃には、実を結び、葉は黄ばんで枯れてしまいます。カタクリの様に、春早くから初夏にかけての短い期間に一年の生活を終えてしまう植物を早春植物と呼んでいます。

最後に、カタクリのきれいな花を見る時は晴れた日に出かけないと見れません。というのは、雨の日や曇りの日には花びらが完全にそり返らず、半分位しか開かないからです。(K.K.)

富山市科学文化センター	○開館	午前9:00～午後4:30	
〒930-11 富山市西中野町3丁目1番19号	最終プラネタリウム3:40より放映		
TEL 富山 (0764) 91-2123	○入館料	大人200円 小人100円	
○付属天文台	富山市五福8番地	○休館日	月曜日・祝日
☎ (0764) 32-3334 (ただし5月5日と、11月3日は開館)			